

勉強の秋

茗溪塾塾長 長谷誠基

10月に入り、ようやく涼しくなってきたようです。ラグビーのワールドカップやアジア大会の各競技などの活躍がニュースになっています。まさにスポーツの秋真っ只中という感じです。

そして勉強の秋。9月から志望校別特訓も始まり、模擬試験を受け、過去問も解き、検定試験も間近に迫りと忙しい時期になっています。あれもやらなくちゃ、これもやらなくちゃと焦ってしまい、やることを整理するだけでも大変。なかなか時間が取れない、と思っている人も多いのではないのでしょうか？

しかし、その状況になっているのは決して自分だけではありません。周りのみんなもそうなのです。言動には出ていないかもしれませんが、受験生は必ずこの状況になります。自分だけがやれていないなんてことはありませんので、目の前のことに1つ1つ取り組んでいきましょう。

小6はすでに学習範囲が終了しているので、模擬試験や過去問の総合問題を解き、そこで発見された弱点を今まで使っていた問題集などで学びなおす、という勉強を続けていけば大丈夫です。高3生もこの時期になるとほぼ同じようにできるのではないのでしょうか？中3生でまだ単元が終わってなくて、過去問に取り掛かれないという場合は、模擬試験を定期的に受けて、そのやり直し、できなかった単元の学びなおしという順番で学習を続けてください。中3生はその間に検定試験や定期試験を挟む場合もあると思います。それらも受験勉強の一環ととらえてください。中3の定期試験は復習範囲を含むことも多く、中1・2内容の学びなおしもできます。英検や漢検もリスニングや長文の読解練習、英作文の練習になりますし、漢検も語彙力の向上や実際の漢字の読み書き、ことわざ・慣用句・四字熟語なども入試に役立つものです。なかなか、思っていることをやれないと思うかもしれませんが、実はやっていくことそれぞれに意味があります。やらなくてはいけないことを中途半端にせず、きちんとやりきりましょう。

受験生以外の学年もこの秋は、学習内容が難しくなる時期になります。一学期と同じような勉強スタイルでは、こなせなくなったり思うように点数が取れなくなったりする可能性があります。ここで自分の勉強のやり方を見直してみましよう。特に重要なのはやり直し勉強を組み込めるかということです。授業の振り返りや小テストのやり直しなど、1つでもやり直し勉強ができるようになってくると、徐々に成績に現れてきます。今後のためにも勉強スタイルを見直してみてもいいかがでしょうか？